

活動報告

団体名	いっぽん
活動名	被災者の心身のケアのためのマッサージ&足湯等による傾聴活動
活動期間	2019年10月9日～2019年12月5日
活動の成果	<p>当初は災害VCの職員の皆様や被災住民を対象にマッサージケア活動を行い、被災住民の憩いの場所作りを目的としました。現在は屋根瓦やブルーシート使用による屋根の応急処置の作業が最優先とされ、その作業に従事する支援団体やボランティアの皆様の極限を超える体への負担、そこからつながる心の疲労などから「支援者の支援」がとても重要であると気づき、支援者様へのマッサージケア活動にも力を入れさせていただきました。</p> <p>発災直後から千葉県内では広域・長期間にわたり停電となり、気温も高い日が続く、熱中症とみられる症状で倒れた人も多くいらっしゃった、というニュースが北海道でも連日報道されていました。胆振東部地震被災3町ほか、札幌市でも地震の時に停電を経験し、一時的に生活困難に陥り、被災経験をしたからこそ、千葉県被災地・被災者に対して心を痛めておりました。しかし、遠い被災地へどのように支援をすれば良いのか悩んでいる人もたくさんおられました。そのために、道災地の声や現状を伝え、知ってもらい、北海道の被災地から千葉県の被災地へ繋げることも大切なのだと、活動を通じて感じました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度は台風15号の自然災害に対し、多大なるお心遣いを賜りまして誠にありがとうございます。遠い北海道から支援活動をさせていただけるのは、真心のこもったご寄付・ご支援をお寄せ下さった方々のお力によるものと、心からの感謝を重ねて申し上げます。発災から3ヶ月を過ぎましたが、屋根瓦やブルーシートによる応急処置作業を必要としている被災者がたくさんおられます。また一度張られたブルーシートが度重なる自然の猛威により飛ばされたり劣化が進み、再度応急処置を必要としている方々も大勢いらっしゃいます。そしてこれから寒い冬を迎えます。「北海道支え愛ボランティア団体いっぽん」は、今後も被災地の心情に寄り添い、今後も起こりえる大災害に備え、迅速に動ける団体であるために平時からマッサージ支援ネットワークを構築し、災害関連死の防止活動に努めて参ります。今後とも、北海道の支え愛の輪を広げ、持続可能な社会の創造を目指し邁進して参る所存です。皆さまの一層のご健勝を心よりお祈り申し上げます。</p>

(活動のようす)

